

各位

全3ページ
登録速報(2026-092)
2026年7月22日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記のとおりペントキサゾンの再評価が終了になりましたので、ご連絡します。
再評価終了年月日：2026年7月22日

記

1. 農薬の種類、登録番号及び名称

種類：ブロモブチド・ペントキサゾン水和剤
登録番号：第19872号
名称：ショキニーフロアブル

2. 農薬の物理的・化学的性状

類白色水和性粘稠懸濁液体

3. 農薬の有効成分の種類及び含有濃度

(RS)-2-ブロモ-N-(α , α -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド 18.0%
3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5
-イソプロピルピリジン-1,3-ジオキサリジン-2,4-ジオン 4.0%

4. 農薬のその他の成分の種類及び含有濃度 (15に掲げる事項を除く。)

水、界面活性剤 等 78.0%

5. 農薬の適用病害虫の範囲、使用方法及び使用期限

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキザロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラモダカ クログワイ	移植時	500ml/10a	1 回	田植同時 散布機で 施用	2 回以内	2 回以内
		移植直後～ ノビエ 1 葉期 但し、移植 後 30 日ま で			原液湛水 散布又は 水口施用		
	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ		300ml/10a (少量 散布)		原液湛水 散布		

使用期限：4 年

6. 農薬の使用上の注意事項（8に掲げる事項を除く。）

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- (2) 本剤の使用に当っては、使用前に容器をよく振ること。
- (3) 本剤は雑草の発生前から生育始期に有効なので、ノビエの 1 葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布するようにすること。ホタルイは 1 葉期まで、ミズガヤツリは発生始期まで、クログワイは発生前が本剤の散布適期である。
- (4) クログワイに対しては発生期間が長く、遅い発生のものには効果を示さないもので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- (5) 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- (6) 散布の場合は、湛水状態（水深 3～5 cm）で水の出入りを止めて散布すること。また、極端な浅水や深水での使用はさけること。水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させること。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深 3～5 cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。
- (7) 散布または水口処理後、少なくとも 3～4 日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させないように注意し、また、散布後 7 日間は落水、かけ流しをしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- (8) 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ①砂質土壌の水田および漏水田（減水深 2 cm/日以上）
 - ②軟弱苗を移植した水田
 - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- (9) 散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用はさけること。
- (10) 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- (11) 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- (12) 本剤はその殺草特性から、れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。

- (13) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

7. 人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法

(1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

ア 農薬使用者に係る注意事項

① 毒性情報

- 1) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。

(2) 使用に際して講ずべき被害防止方法

ア 農薬使用者に係る被害防止方法

① 防護装備

[薬剤調製者]

移植水稻：不浸透性手袋

[散布者]

移植水稻：不浸透性手袋

8. 生活環境動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

9. 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨
通常の使用方法ではその該当がない。

10. 農薬の貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

以上